

シリムカ文化大学講座 第4回 通算102

オンライン配信あり / 参加無料

2025 11月19日 (水)
18:30~20:45
イオル文化交流センター

講 師

高橋 満彦 (たかはし みつひこ) 氏

富山大学教育学部 教授/同大学自然観察実習センター長

説明者

田口 洋美 (たぐち ひろみ) 氏

一般社団法人狩猟文化研究所代表/東北芸術工科大学名誉教授

テーマ

門別 徳司 (もんべつ あつし) 氏

株式会社平取町アイヌ文化振興公社 主任

【伝統的狩猟文化の今日的継承の意義・方途を考える】

■ 受講方法 ▼【A】・【B】下記の2つの方法から、ご希望や通信環境などに応じてお選びください。
【A】会場(イオル文化交流センター:平取町二風谷228)での受講を希望する方=事前申込は不要
【B】自宅や職場などでスマホ/タブレット/PCでの受講を希望する方=事前申込が必要
▼申込み切は、11/17の17時まで(厳守)です。
<https://x.gd/oReJA>か、右のQRコードからどうぞ。

主 催 平取町

事務局 株式会社平取町アイヌ文化振興公社

TEL:01457-2-2152 MAIL:sisirimuka.c@gmail.com

本事業は【アイヌ政策推進交付金】を活用しています



- 今回(文化大学講座 令和7年度 第4回／通算第102回)の講座テーマ

伝統的狩猟文化の今日的継承の意義・方途を考える

- 主 催 平取町
 - 主 管 アイヌ施策推進課／事務局=(株)平取町アイヌ文化振興公社
 - 文化大学運営協力団体 平取町アイヌ総合政策推進協議会／平取アイヌ協会／平取町教育委員会／鵡川沙流川河川事務所／日高北部森林管理署／北海道大学アイヌ・先住民研究センター(CAIS)／北海道大学観光学高等研究センター(CATS)
- ※これらの機関・団体などにご協力いただきながら「大学」を運営しています。

- 今回講座の趣旨

- ①伝統的狩猟文化の再生・継承の試みが平取地域ではどのように進められているか、現状を知ってもらう。
- ②全国的なクマとヒトをめぐる状況をふまえ、これからの地域のあり方を考えるための情報・知見を学ぶ。
- ③関係分野の専門家と共に住民の安全や地域の振興に活かしていく協働に向けた基礎を創る機会とする。

- 内 容 ※一部変更となる場合がありますので、ご了承ください

開会 18:30

説明 1 18:40～19:00

説明者 田口 洋美 (たぐち ひろみ)氏

説明 2 19:00～19:20

説明者 門別 徳司 (もんべつ あつし)氏

講義 1 19:20～20:10

講議題 【アイヌの伝統的狩猟文化の今日的継承について】

講 師 高橋 満彦 (たかはし みつひこ)氏

トークセッション 20:10～20:40

閉会 20:45

- 講師プロフィール



◀ 高橋 満彦

1966年東京都生まれ。富山大学自然観察実習センター長兼ニューアングランド大学法学部客員教授も務めている。専門は「環境法」、「自然保護法」、「動物関連法」で、野生動物をはじめとした自然資源の保全保護を中心とした環境法の研究や、海外と日本の環境法の比較研究にも取り組んでいる。

世界各国をめぐり「Wildlife law」、「野生動物保護法」について調査・研究を行い、富山大学の農場にて作物の栽培を行なながら野生動物の研究と共に農地の活用法についての研究も行ないながら「風土に根差した自然保護」を実現している。

主な著作に『移入・外来・侵入種—生物多様性を脅かすもの』(築地書館)『鳥はどこで眠るのか』(文一総合出版)『野生動物の餌付け問題: 善意が引き起こす? 生態系搅乱・鳥獣害・感染症・生活被害』(地人書館)、他。